

ミラー配線修繕方法

(1)チューブ法



1)ミラー先端部のカブラーを外します。

* (2)劣化配線交換法も共通です。



2)カブラー外しツールを使用して配線を抜き取ります。

* (2)劣化配線交換法も共通です。



* 3本とも抜き取ります。

* (2)劣化配線交換法も共通です。



3)金属のカバーを外し通路を露出させます。

*年式によりプラスチックカバーの場合があります。その場合は接着剤を剥がして外します。

* (2)劣化配線交換法も共通です。



4)3本の配線を通路側から引き出します。

* (2)劣化配線交換法も共通です。



5)ヒシチューブをかぶせます。

* 5ミリ程度長めにかぶせます
* 熱すると若干長さも縮みます。

* 今回使用したチューブは内径4パイでしたが、2パイを使用すれば更に良いと思います。



6)ライターで熱しチューブを収縮させます。

* 配線が太くなるとミラーがうまく開きません。ゴムに被われた配線を痛める可能性が有ります。極細く、柔らかく仕上げるのがキモです。



* 3本とも同様に加工します。

* 配線の通路は綺麗にしましょう。汚れは配線の動きを妨げます。

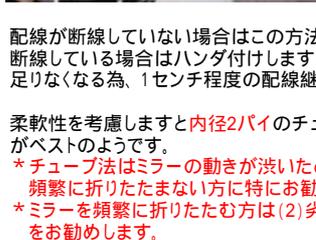


7)3本の配線を元通りの場所に通します。

8)カブラーにセットします。



* 別の角度の写真です。



配線が断線していない場合はこの方法で大丈夫そうです。断線している場合はハンダ付けしますが、配線の長さが足りなくなる為、1センチ程度の配線継ぎ足しが必要です。

柔軟性を考慮しますと内径2パイのチューブを使用するのがベストのようです。

*チューブ法はミラーの動きが渋いため、普段ミラーを頻繁に折りたたまない方に特にお勧めです。

*ミラーを頻繁に折りたたむ方は(2)劣化配線交換法をお勧めします。

(2)劣化配線交換法



*手順1)~4)までは(1)チューブ法と共通です。

* 配線は0.5スケア以下純正配線の太さに揃える方が良い。

* 圧着端子は110型ハウジング用端子のメスを使用。完全適合では無いですが、使えます。

* チューブは内径2パイがいいです。ハンダは極少量でチューブも可能な限り短く使用してください。(写真より短いのが良い)

* 配線が太くなるとミラーがうまく開きません。ゴムに被われた配線を痛める可能性が有ります。極細く、柔らかく仕上げるのがキモです。



最後に注意!! :作業は自己責任でお願いします。